

# チャレンジ

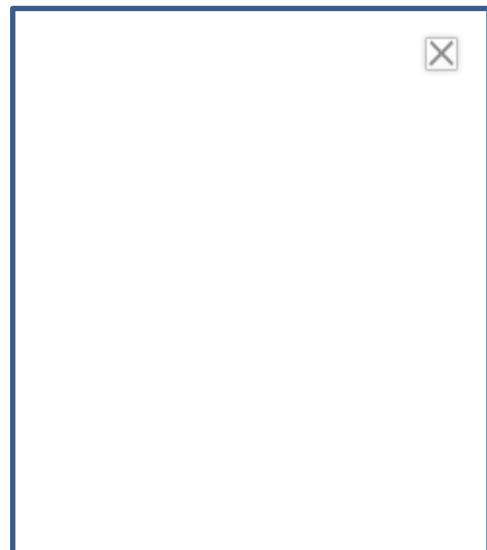
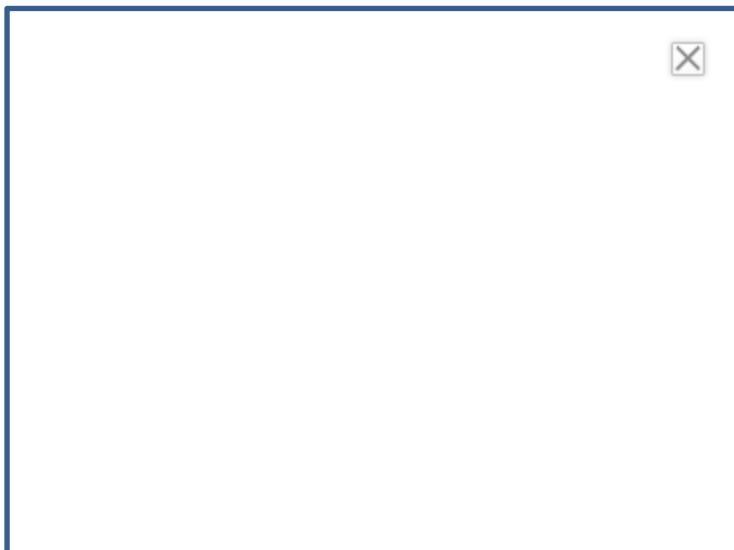


NO.23 2012.4

毎年恒例！！

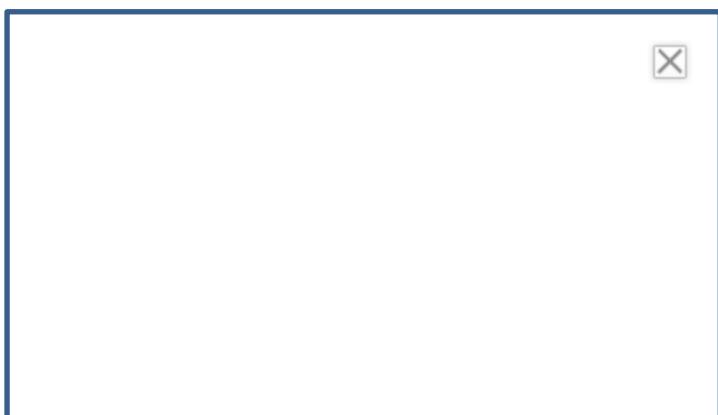
## 利用者親睦会／お花見

発行者 特定非営利活動法人 チャレンジ ステーション クジラ  
〒196-0003 東京都昭島市松原町3-6-7 アートヒルズ 105  
事業所 TEL/FAX 042-569-6433  
法人:TEL/FAX 042-542-7288  
E-mail shrou-kujira@9jira.com  
URL <http://www.9jira.com>



### 2012年4月8日（日）昭和記念公園にて

今年は4月に入り、例年ない強風が続きましたが、この日に合わせたかのように桜やチューリップなど色とりどりのお花が昭和記念公園を彩っておりました。毎年、多くの方がこのお花見に参加をして下さり、日頃、お仕事でなかなかお会いする機会のない利用者の方達と、近況について話をしました。他愛ない話で笑いあえ、とても癒された1日となりました。



### 美しい青色の空のもと

毎年クジラのお花見は空が高く晴れ渡り、桜並木と皆様の笑顔が重なって、職員もとても嬉しいひと時を過ごさせていただいております。今年のお花見も皆様のご協力のもと、無事に終了することができました。初めて参加した方も含め、皆さんの笑顔がとても印象的でした。

# リレーコラム



今回は GE ヘルスケア・ジャパン株式会社  
製造本部 CT/MR 製造部 部長 大橋一元 様よりご寄稿いただきました。

## 「お互いに成長しています」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社  
製造本部 CT/MR 製造部 部長 大橋一元

GE ヘルスケア・ジャパン（株）は、米国 GE のヘルスケア部門の日本の拠点として日野に本社工場を持ち、医療用画像診断機器を開発/製造/輸入/販売などを行っています。全国に 55 か所の拠点を有し、日野工場では、CT スキャナや MRI のような大型の医療機器を担当しています。

かなり以前から障害者の方たちと一緒に仕事をしており、私の職場でも、4 年前から知的障害の方と一緒に仕事をさせていただいている。

受け入れ当初は、出身校の先生や支援センターの方に何度も来ていただき、1 つひとつ、このような場合はこう対応したほうが良い、というアドバイスをいただきながら進めてきました。それによって、私たち自身も理解を深め、成長することが出来たと感じています。

今振り返ると、これらのアドバイスは、みな、ごく自然に対応すれば良い、ということにつながっていると思えます。

現在は、昨年、異動で移ってこられた F さんと一緒に仕事をしています。異動に際しては、不安や心配もあって、出身校の先生方、支援センターの方たちの助言をいただき、少しづつ、実習という形で慣れたあとに移っていただいたため、問題なく進めることができました。

現在、一緒に働いている F さんの良いところを少しだけ紹介させてください。いつも笑顔。F さんはいつも笑顔でいます。これは周りの人からのサポートが受けやすく、周囲をとてもリラックスさせてくれます。

大きな挨拶。F さんは毎朝、毎夕、大きな声で「おはようございます」「お疲れさまです。お先に失礼します」といってみんなに挨拶をしてくれます。私たちのほうが、挨拶の大切さを教えられています。

現在は、少しづつ出来る仕事を増やしていくこう、ということで、支援センターの方からも指導をいただいて、その日の仕事をリストアップするミニホワイトボードを準備するなど、迷うことなく進められるようにしています。少しづつ、出来ることが増えてきて、私たちも大変助かっています。

今後も、支援センター クジラのみなさんのご支援をいただき、さらに働きやすい職場をつくっていきたいと思います。これからも、サポートどうぞよろしくお願ひいたします。

## 利用者の方から

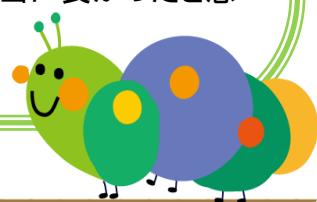
僕は、チャレンジステーションの紹介で立川にあるオリックス業務支援で働いています。

以前羽村のケンタッキーなどで働いていましたが別の仕事もしたいと思い、小平の東京都障害者職業能力開発校に通っていました。

平成19年にチャレンジステーションクジラのおかげでオリックス業務支援に就職することができました。

ちょうど新しく会社ができたときです。立川センタービルの中でメール便やトイレ清掃と不用紙回収とバッチ作業をやっています。月曜日から金曜日まで朝9時から17時20分まで働いています。早番もあります。仲間と一緒にこれからも一生懸命働きます。

チャレンジステーションクジラに紹介してもらって本当に良かったと思っています。



## ナイト・ホリデーサポートのお知らせ

就労をしている皆さまが会社の帰りや休日に事業所へ気軽に相談できるように「ナイトサポートとホリデーサポート」を行っております。

ナイトサポート (17:30~21:00)	ホリデーサポート (10:00~16:00)
5月11日 金曜日	5月20日 日曜日
6月8日 金曜日	6月17日 日曜日
7月13日 金曜日	7月22日 日曜日



# 加納正 障害者雇用の見聞録



**障害者雇用**を進める時、受け皿としての企業の意思決定が大きく影響を及ぼす。

通常、企業での障害者雇用のプロセスは、ハローワークの指導で人事担当者が「障害者の採用計画」を立て、経営トップ（社長や取締役会議）で決定する。そして、実際に採用し現場で障害者と一緒に働く同僚や指導者の理解と支援があって、初めて成り立つ。「障害者には働く権利があり、企業は障害者を雇入れる義務がある」と声高に旗を振っても、真に障害者雇用の拡大と安定（採用後の変化と支え）には繋がらない。

障害者雇用促進法での、特例子会社は現在、全国で320社を上回り多くの障害者が働いている。このことは、知的障害者の雇用の拡大に大きな効果があった。とりわけ、首都圏の私鉄（電鉄）関係9社がすべて特例子会社を設立している。

これは、約15年位前から、「首都圏の私鉄で特例子会社を設立」戦略の一環であり、鉄道事業は関連企業（不動産 百貨店 スーパー レジャー産業）の中心企業で、鉄道事業を支援し特例子会社を設立することで、関連企業への波及を期している。首都圏の電鉄事業は（旧国鉄 JRも含め）は、雇用率制度の除外率も高い。危険職場で内部発生の身体障害者を事故等の後でも雇用し続けたことにより、雇用率は高く、知的障害、精神障害者の雇用へ視点が向かない事実もあったが、特例子会社の設置により、企業での知的障害、精神障害への取り組みを変化させる効果を生み出している。



## ■ 障害者雇用の促進、新幹線の如く「出発進行」（駅員さん風に指差称呼して読んでね）

前述したように、私鉄（電鉄）関係九社が特例子会社を設置し、最後が東日本旅客鉄道㈱（JR東日本）でした。4年前、ハローワーク渋谷で、特例子会社の認可書が㈱JR東日本グリーンパートナーズの親会社である東日本旅客鉄道㈱（JR東日本）に手交されました。東日本旅客鉄道㈱は㈱JR東日本グリーンパートナーズを特例子会社とし、他の2社をグループ適用しています。

当時、ハローワーク渋谷の所長（小生の双子の兄）の訓示は「首都圏での鉄道業で、御社が特例子会社設立の最後になりましたが、新幹線のごとく、東日本旅客鉄道㈱の総力を挙げて障害者雇用のモデルとなるような取り組みを期待します。障害者雇用の花を沿線に咲かせてください。」と「ノウゼンカズラ」の花の種をプレゼント。（ちなみに、枝豆の種もA総務部長に渡し、栽培を依頼し成果物は折半の予定あったが、彼がすべて食べてしまった。）

2011年11月に開催された障害者ワークフェア・イン埼玉で、「ノウゼンカズラ」の花の種を6000個配布されたとか。まさに文字通り、埼玉沿線で障害者雇用の花を咲かせたことになりました。

先日、SACECの会員企業さんとJR埼京線の戸田駅と北戸田駅の中間、並行する新幹線と両方の高架下を使った社屋へお邪魔しました。南浦和のC F P事業（印刷・特殊加工）分室、さいたま新都心駅で行なっている植栽事業と合わせて、齋藤社長ほか32名の従業員が勤務され、その内16名が障害のあるメンバーとなっています。作業のうち最も多いのは、JR東日本社員の着用する制服の管理で、東日本管内の1,705の駅を始めとする現場は、制服の管理上約800か所の拠点に区分されています。

整然とラックに収納された、各規格にサイズまで入れると約2,500種に及ぶとされる上着、ズボン、シャツ、帽子からネクタイまでにいたるアイテムを、定期的な被服更新時はもとより、随時の要求に直ちに応えて、拠点宛に出庫することや、反対に耐用期間に達した着用済みの被服が各拠点から返送された際の仕分けなどが業務内容です。

鉄ちゃん、鉄子ならずとも、キヨロキヨロです。以前、発達障害の方で鉄ちゃんが是非入社したいと言われたが、仕事と趣味はやっぱり違うよね。障害のあるスタッフが指差称呼で確実にかつ、丁寧に（制服はきちんと両手で持つ）行われています。

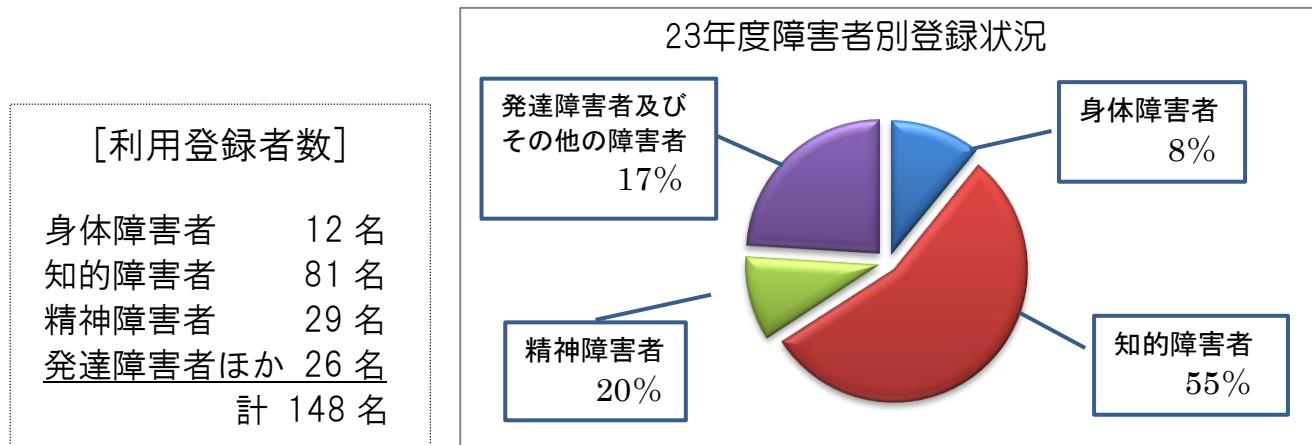
齋藤社長（初代から㈱JR東日本グリーンパートナーズの社長で、以前は「ああ○○駅」の偉い駅長さんで、夏の白い麻の制服が良く似合っていたのでは…）にふざけて、「ネクタイ頂戴」と言ったら、障害者のスタッフに睨まれてしまいました。その視線には、制服に対する思いや自分の仕事に対する責任感、緊張感（制服ですからネクタイ一本紛失することはできません）が伝わって、普段のOJTを始め社員教育の高さを感じました。他にも齋藤社長の説明で見たのが、「発足時から、少しづつ仕事を増やした」と作業室の一角を仕切ってJR社内の公用乗車証の作成や、さいたま新都心駅用の植栽の育成、南浦和で印刷された名刺、社員証、名札の発送用仕上げなどを行っていました。

石井総務部長（栃東関係の）と社員のK君の掛け合い問答では、毎日の生活や職場での経験、レクリエーション大会で優勝したこと、さらには鉄道マニア（音鉄）であるK君が、休日ごとにJR東日本の各線を訪ねる話など、嬉々とした職業生活を披露してくれました。

K君に「この会社に入って、何が良かった」と聞いた時には、「自分は東京から来ているが、埼玉の人が多く、友達になれたこと」と答えていました。仕事を通し、社会参加や連帯、自分の役割と趣味、そして自分の存在をしっかりと他者との関係で確認している様子でした。「働くとはいうことは、そういうことなんだ。」

# 昭島市障害者就労支援事業 平成23年度事業報告

## ○ 昭島市障害者就労支援事業 利用登録状況



### ア 方法別件数 (単位:件)

来所 (本人・家族・企業・関係機関が就労支援事業所に来所)	385件
電話・E-mail・FAX (本人・家族・企業・関係機関が就労支援事業所に電話等する)	2,837件
訪問 (企業・関係機関・家庭への訪問)	520件
その他	129件
のべ件数	3,871件

### ■ 内容別件数

#### ☺ 就労支援 2,165件

職業相談	156件	(就労全般)
就職準備支援	374件	(適性・能力の把握・就労意欲や職業能力の向上等)
職場開拓件数	108件	(独自の職場開拓)
職場実習	142件	(通勤援助・職務分析等)
職場定着支援	1300件	(契約内容相談・定期訪問等)
離職支援	85件	(諸手続き・調整等)

#### ☺ 生活支援 1,706件

日常生活支援	503件	(出勤準備・通勤生活リズムの調整等)
不安や悩みの解消	941件	(対人関係相談・福祉サービス利用等)
豊かな社会生活を築くための支援	242件	(余暇の過ごし方・金銭の使い方等)
将来設計相談	20件	(自活・結婚・出産等自己選択・自己決定に関する相談)

#### ☺ 就職者実績

継続就職者 81名 新規就職者 48名

# 報告 12月～3月

12月 6日 企業・就労支援機関と保護者との懇談会出席【東京都立あきるの学園】  
12月 7日 平成23年度アイキャリア連絡会議出席【新宿区住友ホールスカイルーム47階】  
12月 10日 利用者親睦会【クリスマス会 昭島市内カラオケ店】  
12月 14日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センターあいぽっく】  
12月 16日 平成23年度第4回多摩地域就労支援事業連絡会出席【立川柴崎学習館】  
1月 6日 ナイトサポート  
1月 15日 ホリデーサポート  
1月 20日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センターあいぽっく】  
1月 25日 昭島市障害者ネットワーク学習会出席【昭島市役所 市民ホール】  
1月 26日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センターあいぽっく】  
1月 27日 障害者雇用の普及啓発セミナー参加【都庁都民ホール】  
2月 2日 平成23年度障害者就労支援体制レベルアップ事業研修参加【東京都社会保険福祉医療研修センター】  
2月 3日 ナイトサポート  
2月 6日 第2回東京都障害者就労支援機関意見交換会出席【東京都立中央・城北職業能力開発センター】  
2月 8日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センターあいぽっく】  
2月 10日 けるんネットワーク会議出席【福生市役所さくら会館】  
2月 17日 多摩地区障害者就労支援事業連絡会Bブロック出席【武蔵村山市民総合センター3階集会所】  
2月 18日 ホリデーサポート  
2月 21日 地域支援会議出席【昭島市役所】  
2月 22日 就労移行支援事業・B型事業所見学【あきる野市内】  
2月 23日 昭島市精神保健福祉学習会参加【昭島市役所 市民ホール】  
3月 2日 こころの元気+セミナー参加【ベルサール八重洲】  
ナイトサポート  
3月 7日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センター あいぽっく】  
3月 18日 平成23年度第5回多摩地域就労支援事業連絡会出席【立川柴崎学習館】  
ホリデーサポート  
3月 21日 地域支援会議出席【昭島市保健福祉センター あいぽっく】  
3月 27日 ゆいのもり福祉協会評議委員会出席【食工房ゆいのもり】

## NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ贊助会について

NPO 法人 チャレンジドステーションクジラ贊助会へ多数のご協力をいただきまして  
ありがとうございます。今後も一層の努力をして参りますので宜しくお願ひいたします。

贊助会は随時受け付けております

年 会 費 1口 2,000円  
連 絡 先 042(542)7288 お振込みの場合は下記までお願いいたします。  
振 込 先 青梅信用金庫昭島支店  
普 通 口 座 店 番 015 口座番号 0711599

特定非営利活動法人 チャレンジドステーションクジラ 理事 東條芳男

